

日英教育研究フォーラム研究大会の歩み

結成記念大会 シンポジウム	1992年7月28日 1980年代の教育改革	早稲田大学国際会議場
第2回大会 シンポジウム	1993年7月26日・27日 教育史研究の現在	中央大学駿河台記念館
第3回大会 シンポジウム ゲスト スティーブン・ボール (ロンドン、キングス・カレッジ)	1994年8月27日・28日 教育社会学の現在	国立教育研究所
第4回大会 シンポジウム ゲスト ジョン・ミッチェル (スコットランド視学官)	1995年8月23日・24日 職業資格問題	早稲田大学国際会議場
第5回大会 シンポジウム ゲスト リチャード・オールドリッチ (ロンドン大学大学院教育学研究科)	1996年8月31日・9月1日 教師教育の動向と課題	立命館大学末川記念館
第6回大会 シンポジウム ゲスト グリー・マカロック (シェフィールド大学)	1997年8月26日・27日 1980年代教育改革の意義	早稲田大学教育学部
第7回大会 シンポジウム ゲスト ピーター・ギルロイ (シェフィールド大学) 清水 潔 (文部省高等教育局)	1998年9月17日・18日 教師教育の将来	早稲田大学国際会議場
第8回大会 シンポジウム ゲスト ロナルド・バーネット (ロンドン大学院大学教育学研究科)	1999年9月6日・7日 高等教育改革に関する日英比較	京都大学楽友会館

第9回大会 **2000年9月30日・10月1日** **早稲田大学国際会議場**
シンポジウム **21世紀の学校教育とカリキュラムの構造**
ゲスト マイケル・F・ヤング (ロンドン大学院大学教育学研究科)

第10回大会 **2001年9月29日・9月30日** **早稲田大学**
シンポジウム **教育とセクシュアリティ**
ゲスト ダイアン・レナード (ロンドン大学院大学教育学研究科)
 マイケル・ライス (ロンドン大学院大学教育学研究科)

第11回大会 **2002年9月29日・30日** **早稲田大学**
シンポジウム **イスラームと学校・教育**
ゲスト ジェフリー・ウォルフオード (オックスフォード大学グリーンカレッジ)

日英教育研究フォーラム紀要投稿規定

- 1) 投稿受付は随時とするが、最終締切は毎年3月31日とする。
- 2) 投稿資格は本フォーラムの会員であること。
- 3) 論文の形式は自由であるが、表紙にタイトルと氏名を明記すること。本文は註を含め、400字詰め原稿用紙50枚以下とする。英文の場合は5000 words程度とする。本文のほかに英文要約(500 words以内)を提出すること。なお、打ち出し原稿3部のほか、フロッピー(テキストファイル)を提出する。論文は未発表のものに限る(口頭発表はその限りではない)。
- 4) 事務局は投稿論文を受け取り後、すみやかに3名から構成される審査委員会(うち委員長としての運営委員1名以上を含む)を設置し、論文の審査を依頼する。
- 5) 投稿論文は一切返却しない。
- 6) 審査委員会は提出された論文に対して修正を求めることができる。
- 7) 審査委員会の構成および審査過程、審査結果は公表しない。
- 8) 採用論文は本フォーラムの紀要に掲載される。

論文提出先

〒192-0379 八王子市南大沢1-1 東京都立大学人文学部 大田直子 気付
日英教育研究フォーラム編集委員会